

先輩からの入試アドバイス

指定校推薦入試

看護学部 2年 武藤 彩加 さん
神奈川県立金井高等学校 出身



高校1年生から指定校推薦入試を意識してきました。この入試は、評定基準が設定されているので基準をクリアする努力を続けてきました。毎朝ニュースを数分見るなど、負担が少なく長く続けることができることを実践した結果、学力や一般的な知識をつけることに繋がりました。

オープンキャンパスには参加することができなかつたため、個人的に連絡を取り、学校の説明や設備の見学をさせていただきました。その際、対応をしてくださった職員の方々の優しさや丁寧さに惹かれました。面接では、なぜ看護師になりたいのか、どのような看護師を目指すのか、自分の長所や考えていることを伝える練習をしました。また、面接の対策ノートを作り、話す内容に厚みをつける努力もしました。

筆記試験は総合問題*でした。医療に関係のある新聞記事を集め、自分でその内容を要約し意見等をまとめ、それを高校の先生に添削をもらう事を繰り返しました。知識が不足していると文章を作成することに苦戦すると感じました。この分野でよく使われる言葉の意味を理解して整理することは、受験対策の1つとなると思います。

私が受験をして感じたことは、幅広い視点が求められるということです。看護以外の様々な分野の知識や考えを持つことも重要だと思います。受験を考えている高校生の皆さんが、自分の思い描く大学生活を送ることができるよう応援しています!頑張ってください。

*総合問題は、令和3年度より総合型選抜(資料解釈型)入試で実施いたします。

公募推薦入試

看護学部 2年 正田 妃和 さん
神奈川県立湘南台高等学校 出身



私は高校1年生の夏頃から、付属病院を持つ大学ばかりに目を向けていました。確かにそれらの大学はとても規模が大きく、施設もとても綺麗です。しかし、それには代えられない大切なことを、この大学で見つけました。それは学生と先生の距離が近く、とても親身になってくれるところです。また、閑静な住宅街に位置していることから、とても穏やかな校風といえます。落ち着いて、自分のペースを大事にしながら勉強に励めることにも魅力を感じました。さらに、付属病院がないということは、様々な病院での実習が可能になり、その分沢山の経験が積めるという先生のお話にも感銘を受けました。

私が受験した公募推薦の総合問題*は、「濃く短くまとめる力」を試されたように感じました。自分の考えを文章化できるよう、一つの記事について意見を書く練習をすると、良いと思います。面接は素直な考えを大切にしてください。面接官と受験生という関係ではありませんが、先生はとても優しく親身になって話を聞いてくれます。落ち着いて自分が伝えたい事を話してください。

国家試験に向けて切磋琢磨する4年間。ここでなら頑張れるという理由を大学選びのときに是非見つけてください。穏やかな校風で、先生の優しさや助けをもらいながら国試に挑む学生生活を送ってみませんか?そして、私たち共々、新入生の入学を楽しみにしています。一緒に看護師になるために頑張ってください!!

*総合問題は、令和3年度より総合型選抜(資料解釈型)入試で実施いたします。

一般入試

看護学部 2年 三森 風美歌 さん
神奈川県立厚木東高等学校 出身



受験をしたきっかけは、先輩が通っていたことと、看護師だけでなく保健師の受験資格から養護教諭の免許まで、幅広く職種を選択できることに魅力を感じたからです。受験勉強は高校3年生の春から本格的に開始し、塾にも通い始め、特に英語と理科科目を強化してきました。

受験科目は、国語・英語・化学でした。英語は、苦手としていた長文問題を克服するために、まず単語の暗記から取り組みました。音読しながら発音記号を頭に思い浮かべると覚えやすいと思います。また長文問題の文中の分からない単語に印をつけ、後で確認するという方法はとても良かったと思います。さらに友達と問題を出し合うのも効果がありました。

化学は、問題集を繰り返し行いました。暗記よりもどれだけ計算が理解できるかが重要で、計算問題を多くこなすのが良いと思います。また、化学の計算はやり方が1つではないため、解くコツを見つけられると、複雑な計算も解けるようになっていくと思います。

国語は、文章問題では、重要だと思った言葉に線やマークをつけることで、見返したときに分かりやすくなりました。また、問題は最初じっくり読んで理解してから取り組むと、スムーズに解くことができました。

一般入試は、最後まで問題と向き合う入試方法ですが、大学に入ってからその「頑張れる力」や「粘り強さ」はとても役立ちます。そして何より、今しかできないこの受験を楽しんでください!

センター試験利用入試

看護学部 2年 坂本 咲希 さん
私立横浜隼人高等学校 出身



この大学を受験した理由は、「保健師の受験資格も得られる」、「横浜市内の大学で自宅から通いやすい」ということでした。保健師になりたいという夢があり、入学後にしっかりと勉強ができる環境を考えて、自宅から近い大学というのはとても魅力的でした。高校2年生で受験を意識し、3年生の9月頃までは基礎固めと、苦手科目の克服に重点を置いて勉強をしました。予備校にも通い、授業が終わった後も自習室で勉強しました。

試験対策としては、センター試験の問題形式に慣れるために、数年分の過去問と予想問題を解きました。間違えた問題は、解説や高校の教科書、問題集などで理解し、また正解した問題も、正解以外の選択肢について確認するなど、問題ひとつひとつ丁寧確認しました。センター試験は正確に素早く解くことが要求されるため、本番を想定し時間配分を設定して問題を解く練習もしました。入試直前は、問題の復習と苦手分野の知識の確認に時間を費やしました。

面接対策では、自己分析と、将来どのような看護師、保健師になりたいかを具体的にまとめました。また、新聞を毎日読み、医療に関する記事や自分の興味をもった記事をスクラップしていました。新聞を読むことは、語彙力や読解力のアップにも繋がりますのでおすすめです。

受験は孤独で不安な気持ちになりますが、受験勉強で得られた知識は大学の様々な授業で活かされます。最後まで粘り強く頑張ってください。